令和８年１０月６日　議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

○議長（中本隆志君）　以上をもちまして、今次定例会に提出されました議案は、継続審査となりました決算関係議案を除き、ここに全て議了いたしました。

各位におかれましては、会期を通じ、格段の御精励を賜り、県政の当面する重要議案について、いずれも適切な結論を得られましたことは、県民福祉の向上と県勢伸展のため、誠に御同慶に堪えません。

さて、我が国の経済は、緩やかに景気が回復しており、今後も雇用と所得の環境改善や各種政策の効果がこれを支えていくことが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要があるとされております。

先ほど成立した補正予算には、将来を見据えた経営構造への転換等に向けて、生産性向上など生産コストの縮減に資する設備投資や、海外への販路拡大に取り組む事業者に対する支援、さらには、県内造船産業の競争力の強化に向けた支援などが盛り込まれております。

県当局には、時期を逸することなく迅速に執行していただくようお願いします。

また、８月以降、頻発している自然災害については、９月定例会開会後においても、台風25号による記録的な大雨が、関東地方を中心に甚大な被害をもたらしています。

こうした状況の中、今次定例会におきましては、防災のためのハード整備や都市型内水氾濫対策のほか、避難生活環境の改善、物資の備蓄などの災害発生時の対応について、議論が行われたところであります。

自然災害の激甚化・頻発化は、今後も十分予想されるところでありますので、県当局におかれましては、こうした議論を踏まえ、国において11月に設置される防災庁や市町などとも連携しながら、県民の安全・安心の確保に取り組んでいただくよう切望する次第であります。

このほかにも、先日の国連本部での核なき世界を目指す高官級会合において、グテーレス事務総長が、冷戦終結以来、核をめぐり最も危険な時期にあると警鐘を鳴らされましたが、このような国際情勢の中で、先ほど、国に対する「核兵器のない世界」の実現に向けた一層の努力を求める意見書が全会一致をもって可決されたことは、誠に時宜を得たものであります。

県議会といたしましても、人類史上最初の原子爆弾による惨禍を体験した本県の果たすべき役割を十分に認識し、県当局と共に国内外に向けた核兵器廃絶への取組を着実に進めてまいりたいと考えておりますので、議員各位の御協力をお願いいたします。

これをもちまして９月定例会を閉会いたします。